

# 記載例

## 収支予算(見込)計算書

**自社**

会社名	あわあわバス
担当者	徳島次郎
旅行名称	△△株式会社〇〇旅行

### ■増車前

項目	内容	単価	数量	金額	備考
貸切バス利用料	中型	79,440	2	158,880	
有料道路利用料					
フェリー利用料					
駐車料金		545	2	1,090	
乗務員経費		909	2	1,818	
添乗員経費		909	2	1,818	
計			(税抜き)	163,606	
GoToトラベル			一式	27,000	
他自治体等補助金			一式	5,000	

※貸切バス利用料の単価積算

適用運賃	中型	120円	時間制運賃	6,160円
交替運転手配置運賃	キロ制		時間制運賃	
運転手の拘束時間		9時間	(運転前後の点呼を含む)	
運行距離		200km	割増	
バス料金単価	79,440円	⇒	適用単価	79,440円

### ■増車後(自社運行)

項目	内容	単価	数量	金額	備考
貸切バス利用料(基本)	中型	79,440	2	158,880	
貸切バス利用料(増車)	中型	79,440	1	79,440	
有料道路利用料(基本)					
有料道路利用料(増車)					
フェリー利用料					
駐車料金		545	3	1,635	
乗務員経費		909	3	2,727	
添乗員経費		909	3	2,727	
計			(税抜き)	245,409	
GoToトラベル			一式	27,000	
他自治体等補助金			一式	5,000	

※貸切バス利用料の単価積算

適用運賃	中型	120円	時間制運賃	6,160円
交替運転手配置運賃	キロ制		時間制運賃	
運転手の拘束時間		9時間	(運転前後の点呼を含む)	
運行距離		200km	割増	
バス単価	79,440円	⇒	適用単価	79,440円

# 記載例

## 収支予算(見込)計算書

### 庸車

会社名	あわあわバス
担当者	徳島次郎
旅行名称	△△株式会社〇〇旅行

### ■増車前

項目	内容	単価	数量	金額	備考
貸切バス利用料					
有料道路利用料					
フェリー利用料					
駐車料金					
乗務員経費					
添乗員経費					
計			(税抜き)		
GoToトラベル					
他自治体等補助金					

※貸切バス利用料の単価積算

適用運賃	中型		時間制運賃	
交替運転手配置運賃	キロ制		時間制運賃	
運転手の拘束時間			(運転前後の点呼を含む)	
運行距離			割増	
バス料金単価		⇒	適用単価	

### ■増車後(他社庸車)

項目	内容	単価	数量	金額	備考
貸切バス利用料(基本)					
貸切バス利用料(増車)	中型	88,750	1	88,750	
有料道路利用料(基本)					
有料道路利用料(増車)		1,455	1	1,455	
フェリー利用料					
駐車料金		545	1	545	
乗務員経費		909	1	909	
添乗員経費		909	1	909	
計			(税抜き)	92,568	
GoToトラベル					
他自治体等補助金					

※貸切バス利用料の単価積算

適用運賃	中型	115円	時間制運賃	6,000円
交替運転手配置運賃	キロ制		時間制運賃	
運転手の拘束時間		10時間	(運転前後の点呼を含む)	
運行距離		250km	割増	
バス単価	88,750円	⇒	適用単価	88,750円

# 事業計画書

記載例

会社名	あわあわバス
-----	--------

①事業名	3密回避のためのバス増車事業 (△△株式会社〇〇旅行)
②実施目的	〇〇によるバス乗車中の3密状態を回避するため、バスの増車を実施することにより、利用者の安全・安心に繋げる。
③事業内容	3月1日の予定で実施される〇〇旅行において、バス車両を増車し余裕をもった座席での運行を行う。 中型1台(正座席27人)×2台 ⇒ 中型1台(正座席27人)×4台で運行する。 参加者 40名
④事業を実施することにより期待される効果	余裕をもった座席で運行を行うことにより、利用者の安全・安心が確保されるとともに、新型コロナウイルス感染症のリスクが低減される。

収支予算(見込)書(合計)

記載例

(1) 収入

(単位:円)

項目	予算額	積算内訳
貸切バス助成金	174,000	収支予算(見込)計算書のとおり
(端数処理)	371	収支予算(見込)計算書のとおり
利用者支払料金等	126,880	収支予算(見込)計算書のとおり
GoToトラベル	27,000	収支予算(見込)計算書のとおり
他自治体補助	5,000	収支予算(見込)計算書のとおり
合計	333,251	

(2) 支出

(単位:円)

項目	予算額	積算内訳
バス増車経費	172,916	収支予算(見込)計算書のとおり
高速道路利用料	1,455	収支予算(見込)計算書のとおり
中型バス運行経費	158,880	収支予算(見込)計算書のとおり
合計	333,251	

助成金所要額調書（合計）

（単位：円）

記載例						
実施事業	総事業費 A	寄附金その他の 収入額 B	差引額 (A - B) C	対象経費 支出(予定)額 D	交付基本額 E	交付所要額 F
3密回避のためのバス増車事業	333,251	158,880	174,371	174,371	174,371	174,000
計	333,251	158,880	174,371	174,371	174,371	174,000

※交付基本額E欄には差引額C欄と対象経費支出(予定)額D欄とを比較し、少ない額を記入すること。  
また、交付所要額F欄には、交付基本額E欄の1,000円未満を切り捨てた額を記入すること。